

「千年希望の丘」基本構想

岩沼市では、2011年3月11日に発生した東日本大震災において沿岸部が壊滅的な被害を受けました。その大半は大津浪による被害で、私たちは物理的に防御できない津波の存在を知りました。このような大自然の災害と共存していくためには、大自然の力を完全に防御するのではなく、災害時の被害をいかに最小限に食い止めるかという「減災」の考え方を基本に、まちづくりを進めていく必要があります。

「千年希望の丘」は、津波の力の減衰や避難場所として活用するとともに、再生可能な震災廃棄物を活用した築造により、この大津波の痕跡や被災者の想いを後世に伝え、さらに集落跡地等の遺構の保存による震災の記憶や教訓を国内外に発信するメモリアル公園と防災教育の場として整備をすすめていきます。

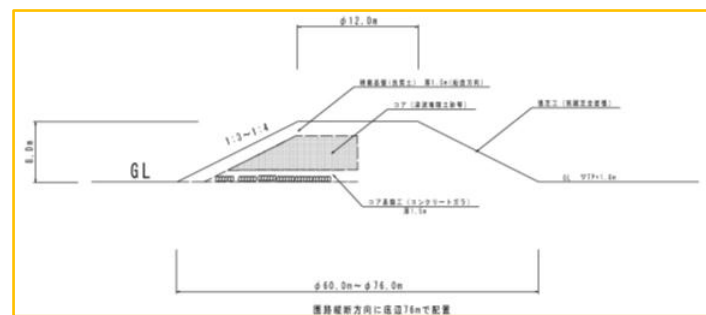


第1号丘 (モデル丘)

第1号丘は、全国からの寄付金で丘と園路を造成し、平成25年6月9日の植樹祭において、いのちを守る森の防潮堤推進東北協議会や瓦礫を活かす森の長城プロジェクト等から約3万本の苗木の支援を受け、ボランティア約4千5百人による植樹を行いました。

なお、造成には、震災廃棄物から再生した資材を造成土として、丘の約6割に活用しています。

丘の断面図/楕円 H=8.0m



植樹祭 (3万本の樹に復興の思いと未来への希望を込めて)



実証実験丘

「千年希望の丘」の創造に向けた試験的な取り組みとして岩沼臨空工業団地内の臨空南公園に、高さ約4m、大きさ約2千㎡の丘を造成し、植物生態学者の宮脇昭先生の指導のもと、平成24年5月26日に植樹祭(6千本の植樹)を行いました。

○使用した盛土材

工程	内訳	量(m3)	比率
基礎工	コンクリートガラ	460	11.6%
	津波堆積土	350	8.8%
盛土工	丸太	150	3.8%
	建設残土	3,000	75.8%
	合計	3,960	100.0%

○植樹した苗木

- 1 タブノキ 2 スダジイ 3 シラカシ 4 ウラジロガシ 5 ネズミモチ
6 ヒサカキ 7 ヤツデ 8 ナンテン 9 マサキ 10 シヤリンバイ
11 コムラサキ 12 アオキ 13 トベラ 14 アカガシ 15 アラカシ
16 ヤマザクラ 17 サカキ 18 ヤブツバキ 19 シロダモ 20 モチノキ



復興寄付の募集

「千年希望の丘」の整備には莫大な費用が必要になることから、国内外の多くの皆様に呼びかけ、一日でも早く「千年希望の丘」を築造したいと考えています。

ご寄附いただいた金額 (平成25年3月末現在)
合計金額 77,074,745円 (件数 43件)

1000年後の子供たちに残す歴史的プロジェクト 津波よけ「千年希望の丘」整備の復興寄付について

「千年希望の丘」は、先進的な復興モデル実現の場であり、私たちの思いや祈り、数々の教訓を千年後の子供たちに残すための歴史的なプロジェクトでもと考えております。しかしながら、その整備には莫大な費用が必要になることから、国内外の多くの皆様に呼びかけ、一日でも早く「千年希望の丘」を築造したいと考えておりますので、ご支援・ご協力をお願いいたします。

1. 寄付の申込先

ご寄付につきましては、必要事項をご記入の上、郵便、メール等で下記までお申込みをお願いします。

送付先 宮城県岩沼市総務部総務課 (電話 0223-22-1111)
住所 〒989-2480 宮城県岩沼市桜一丁目6番20号
FAX 0223-24-0897
Eメール soumu@city.iwamura.miyagi.jp

2. 寄付金の振込先等

(1) 銀行振込

振込先 七十七銀行 岩沼支店 (シチジュウシチギンコウ イワヌマシテン)
口座番号 普通預金 5685796
口座名義 岩沼市千年希望の丘整備復興寄付金 岩沼市長 井口 経明
(イワヌマシケンネンキボウノオカセイビツコウキケン イワヌマシチヨウ イクチ ツネアキ)
振込手数料 七十七銀行本支店からの振込については手数料がかりません。

(2) 現金受領

岩沼市役所2階 会計課 ※月～金曜日 (祝祭日を除く)

(3) 現金書留

〒989-2480 宮城県岩沼市桜一丁目6番20号
岩沼市役所会計課あて
(津波よけ「千年希望の丘」整備の復興寄付と明記してください。)

3. 税法上の措置

所得税等に係る寄付金控除の対象になります。

4. 問い合わせ先

〒989-2480 宮城県岩沼市桜一丁目6番20号
岩沼市役所
電話 0223-22-1111
■受領書の必要な方や「千年希望の丘」整備の復興寄付に関するお問い合わせ
会計課 総務課
■「千年希望の丘」の整備に関するお問い合わせ
復興整備課

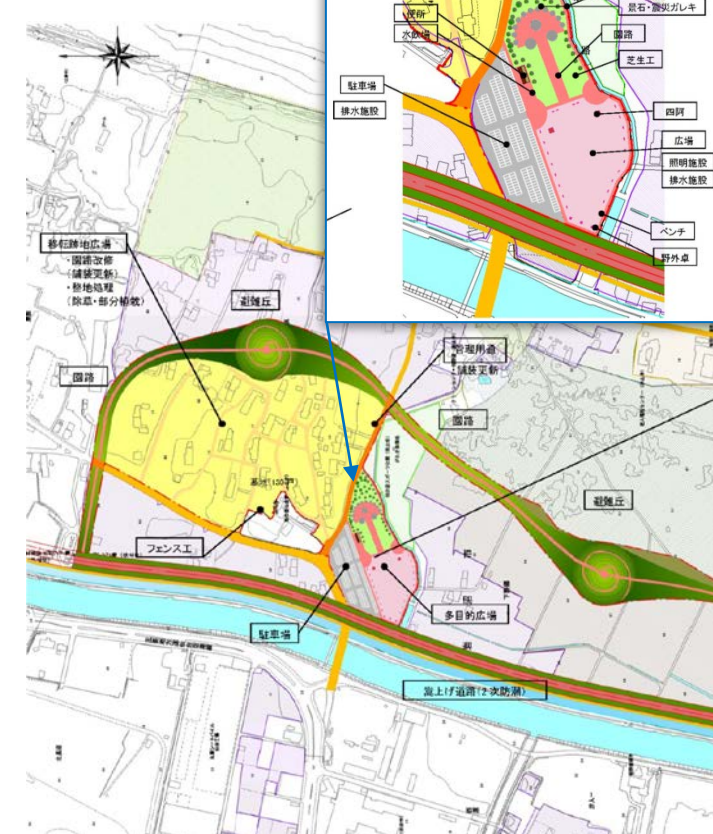


都市公園事業

「千年希望の丘」基本構想のうち、①③⑦⑧⑨⑫の6基の丘は、東日本大震災復興交付金の都市公園事業により平成25～27年度の3か年で整備を行います。

なお、丘については、造成土の約7割に震災廃棄物から再生した資材を活用するとともに、植樹支援による植栽を計画しています。

○計画図 (相野釜地区)



岩沼市の多重防御（津波対策）



千年希望の丘（市事業）
 減衰や避難地等の機能を有する防災公園として、15基の丘と園路を計画しています。
 丘の高さは、T. P. +8.0～+10.0mで、園路の延長は、約10kmです。

嵩上げ道路（市事業）
 津波被害への新たな対策として、概ね3年間（平成27年度）で嵩上げ道路を整備します。
 嵩上げの高さは、T. P. +5.0～4.0mで、延長は、約7.3kmです。

河川堤防（県事業）
 被災した南貞山運河と五間堀川は、概ね5年間（平成27年度）で復旧を行います。
 堤防の高さは、T. P. +3.7mで、延長は、約13.5kmです。

防潮堤（国事業）
 被災した防潮堤は、国の直轄事業により概ね5年間（平成27年度）で復旧を行います。
 防潮堤の高さは、T. P. +7.2mで、延長は、約9.9kmです。

凡 例	
-----	市町村界
□	復興整備計画の区域
□	復興整備事業のおおむねの位置
□	移転元
□	農用地化検討区域



千年先の子どもたちに伝えたい

千年希望の丘

MILLENNIUM HOPE HILLS



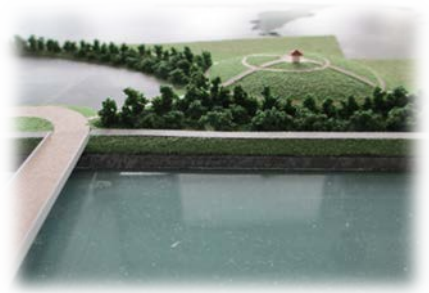
第1号丘（モデル丘）造成工事
 造成土の約6割に再生ガレキを使用



千年希望の丘
 空港側から見たイメージ図



千年希望の丘／二の倉地区
 公園施設の計画図



千年希望の丘と貞山堀
 貞山堀から見たイメージ模型



千年希望の丘／相野釜地区
 丘と遺構のイメージ模型



千年希望の丘／緑の堤防
 園路のイメージ模型



東日本大震災 2011年3月11日
 M9.0の地震と10mを越す津波



玉浦西地区
 被災した沿岸6地区の集団移転先



岩沼市内の48%が津波浸水
 合併前の旧玉浦村が津波により被災



日本三稲荷のあるまち岩沼
 竹駒神社/842年～



岩沼藩三万石のまち岩沼
 領主・田村氏/1661年～1681年



仙台空港のあるまち岩沼
 国際線7路線/国内線9路線